



No. 10 (2014年1月)

## ★学長選をふり返って★

はや旧聞に属しますが、埼玉大学の学長選挙では山口宏樹教授（現理事）が次期学長として選出されました。候補者が一人しかいなかったため、盛り上がりには欠けた選挙と言えなくもありませんが、埼玉大学の進むべき方向性を全学的に議論する機会としてはきわめて重要なものでした。

組合では、昨年12月9日に午後6時—7時に山口氏をお招きして、立会演説会を行いました。あらかじめ集めた質問を候補者にご回答いただいた点、とくに労使関連での突っ込んだ議論、非常勤職員や学生も参加できた点など、公聴会とは異なる組合独自の取り組みができたものと自負しています。もちろん、山口氏のご参加にも深謝いたします。

以下にあげるのは、当日のやり取りのうち、とくに重要と思われるものです。当日、立会演説会に参加できなかった大学構成員にも情報提供するためにUPでご紹介いたします。紙数の関連からごく限られたものになっていますが、組合員にメール配信している「ユニオンレター」では全文を読むことができます。

労使関係については、上井学長の対話路線を踏襲することを、山口氏が明言されたのはきわめて重要な点です。給与システムや雇用体系など大学の労働環境は年々複雑化しており、対話型の労使関係の維持は欠かせません。新体制においてもこの点が堅持されることを組合は強く求めます。

### （質問1）

候補者が考えている「埼玉大学の将来像」をお示し下さい。埼玉大学は、どういう分野でどんな特色・強みを発揮していくことを目指すべきとお考えでしょうか。

### （回答1）

埼玉大学は各学部の強み特色、社会的役割を分析した上で、学部の枠を越えた再編、連携による埼玉大学の改革を策定して進めつつあります。したがって私の思い描く埼玉大学の将来像は、この強化戦略構想と関係します。国際通用性の担保された質の高い教育を実践し、これを前提として有意な人材を育成して社会地域にしっかりと輩出すとともに、強みを有する特徴的な研究分野の選択と集中による研究力強化を積極的に行って、研究と教育の両面から自他共に誇れる「知の府」としての埼玉大学へと展開していきたい、これが私の考える将来像です。より具体的には、まず研究ですが、強み特色を有する研究領域として3つ、グリーン環境領域、ライフナノバイオ領域、インタラプションサイエンス領域、その3つの選択肢でいきます。理工学研究科戦略的研究部門に教員や、リサーチアドミニストレーターなど資源を集中します。この3領域が中心となって領域内に限らず、学問の枠を越えた融合研究を積極

的に企画展開して埼玉大学の研究上の個性と存在感を示していきます。

**(質問2)**

これまで埼玉大学では、学長がリーダーシップを発揮しつつも、各部局・学部の意志を尊重する「教授会自治」が大切にされてきました。この点について候補者はどのように進めたいとお考えですか。

**(回答2)**

この一年間の大学内の動きが今後の方向性を示していると考えます。具体的には埼玉大学の強化戦略を策定して具体化する作業をしましたが、そこでは学長をはじめとした大学執行部が戦略企画室において部局の執行部と密度の濃い議論をしてみたりしました。その上で部局の教授会に出向いて説明と意見交換を行い、教授会の考え方も尊重しつつ、大学としての意志決定を迅速に行ってきました。私としては、小規模で全部局が一キャンパスに集まるという特色を生かし、埼玉大学ならではのガバナンスの一つの方向性が見えたと思っております。私としては、これを継続していきたいです。

**(質問3)**

これまで埼玉大学では、教職員の労働条件に関する事柄については、過半数代表・教職員組合との交渉・話し合いを重視するという対応が取られてきました。この点について、候補者はどのように進めたいとお考えでしょうか。

**(回答3)**

教職員の給与、その他の勤務条件をめぐる労働環境問題は、埼玉大学にとっても極めて重く難しい問題としてのし掛かっています。したがって過半数代表及び教職員組合との交渉や話し合いを重視する対応は当然のことながら継続すべきです。

**(質問4)**

埼玉大学でも「任期付き教員」が増えつつあり、また国レベルでは「年俸制」が議論されています。大学教員は、安定的な雇用条件のもとで教育研究に携わることが大切だと考えますが、候補者は「任期付き」や「年俸制」について、どのようなお考えをお持ちですか。

**(回答4)**

「大学教員は、安定的な雇用条件のもとで教育研究に携わることが大切だ」という考えは十分に理解しますが、ただ、教員によっては、その人のキャリアや役割、あるいは雇用条件に応じて、任期付きや年俸制の雇用形態が相応しく、又、好ましいという場合があると考えています。つまり大学教員を一括りに考えるのではなくて、状況や条件を明確にした上で、年俸制や任期付き採用を限定的に導入し、維持していくべきであると考えています。現時点では、「埼玉大学の強化戦略」における特定分野の研究力強化に関わって、戦略的研究部門に配属する任期付き研究教員に対して年俸制を適用することが考えられます。

埼玉大学教職員組合 〒338-0825 さいたま市桜区下大久保 255  
TEL/FAX 048-853-5609 内線 3160 URL <http://19.pro.tok.com/~saidaikumiai/>  
E-mail [saikyoso@gr.saitama-u.ac.jp](mailto:saikyoso@gr.saitama-u.ac.jp)  
組合事務室は生協第二食堂内 月火木金、午後12時～夕方5時 開室